

Elazzo

SEAT COVER



HONDA
CIVIC

専用シートカバー取付説明書

Clazzio

SEAT COVER

このたびは「Clazzio シートカバー」をお買い上げいただき、
誠にありがとうございます。

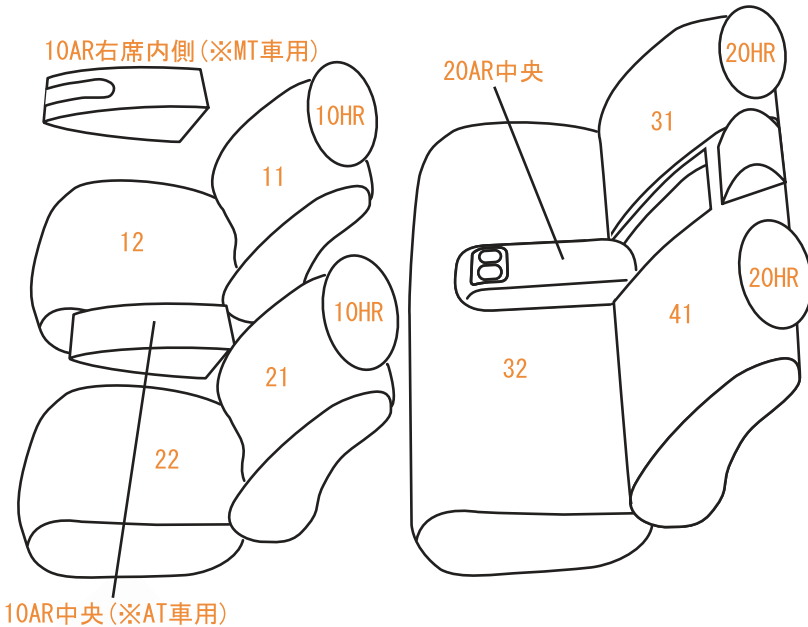
本説明書にはシートカバーの取付け方法・取り扱い・返品などに関するの
注意事項が記載されておりますので、装着前に必ずお読みください。

※ 本説明書中の掲載写真はサンプル品を使用しているため実際の製品やデザインと異なります。

INDEX

シートカバー装着前の注意事項	…> 3P~4P
1列目座面の装着方法	…> 5P~7P
1列目背もたれの装着方法	…> 8P~9P
2列目座面の装着方法	…> 10P~14P
2列目背もたれの装着方法	…> 15P~19P
ヘッドレストの装着方法	…> 20P~21P
1列目アームレストの装着方法	…> 22P~24P
2列目アームレストの装着方法	…> 25P~26P
完成	…> 26P
アフターサービスと生地別メンテナンス方法	…> 27P~28P

本製品シート形状とパーツの名称



取付必要工具



- ① ソケットレンチ (10mm・14mm) ※15センチ以上のエクステンションバー
- ② プラスドライバー
- ③ 両面テープ(薄手のタイプ) コンソールカバー装着時に必要に応じて用意して下さい
- ④ クラッチフォーク専用ヘラ (付属)

この車種では上記の工具を使用します

シートカバー装着前に必ずお読みください

- 本製品が届きましたらシートカバーを装着される前に内容物を確認の上、必ずお客様のお車に仮合わせ（シートに装着せずに）して、お客様のシートパターンに合うことをご確認ください。シートカバーの各部品がどの位置かが分かるように、番号の入ったタグが商品の裏側に付いています。仮合わせの時点で、製品に何らかの支障があった場合は、お買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
事前に連絡が無く装着された後での、製品の返品・交換等につきましてはお受け出来ません。また、お客様の注文間違いによる製品の返品・交換等は、商品到着後1週間以内とさせていただきますので予めご了承ください。※カスタムオーダー、特注パーツ、受注生産品などは、装着前であっても返品や交換等をお受け出来ません。
- 梱包や運送の過程で本製品に使われている素材にシワができることがあります。正常に取り付けを行っていただくことで生地がなじみ、シワはある程度解消できますが、まれに跡が残る場合がありますので予めご了承ください。シワが気になる場合は、装着前にお買い上げいただいた販売店、または弊社までご連絡ください。
- 本製品は純正シートの機能（チャイルドシート固定フックやバックテーブル等）を損なわないように設計しております。（一部例外はあります）その為、背もたれや座面に穴開け加工をしているタイプのシートカバーがあります。
- 注文したものと違う商品が届いたり、製造上の不良または運送中に生じた内容物の破損がありましたら、ご購入された販売店までご連絡ください。商品を交換もしくは修理対応させていただきます。※交換対応商品が在庫切れの場合は多少お時間をいただく場合があります。予めご了承ください。
- 内容物に影響がない外装箱の破損、商品の細かい傷、シワ等は初期不良の対象外とさせていただきます。また装着後の商品は仕様違い及び初期不良を除き、返品・交換等致しませんので装着前に必ず確認等してください。また、装着時に加工等された商品に関しましても返品・交換等は致しませんので予めご了承ください。
- 座席への着度が非常に高い設計となっている為、シートカバーの使用期間中に座席本体にダメージを与える場合があります。この点をご理解の上、ご使用ください。
なお、シートカバー装着に起因するダメージに対する補償は致しませんので、予めご了承ください。
例）座席本体に生じた傷、破れ、摩擦痕、シワ、ヘコミ、変形、変色、化学変化等

⚠ 警告 サイドエアバッグについて

- 本製品は1列目背もたれの両横部分とSRSサイドエアバッグ展開部分に、SRSサイドエアバッグに対応した縫製系を使用しています。（SRSサイドエアバッグの有無に関わらず全製品）その部分は他の部位に比べて縫製系が切れやすくなっています。装着時には過度の力がかからないようにご注意ください。またシートカバーを正しく装着出来ていないと、衝突時などにサイドエアバッグが正常に作動せず、重大な傷害を負うか、最悪の場合死亡につながる恐れがあり危険です。※サイドエアバッグの対応基準は、正式な安全基準が無いため（※2023年10月現在）弊社独自の安全基準を設けております。

本製品に関する注意事項

- 本革やジーンズ等の染料を使用している素材や、新聞紙等の印刷物を長時間接触させると、本製品に色移りや本革等に粘着が生じることがあります。また衣類製品側にも色移りが生じる場合があります。
- 本製品を直射日光に長時間当てると、生地が表面が変化・変形・変色の原因となります。また、高温多湿の環境下では生地の硬化や収縮、カビが発生することがあります。
- 本製品は石油を原材料として使用しているため、臭いがきつく残る場合があります。装着してから約1~2週間で臭いは緩和されますが、気になる場合は本製品を換気の良い所に1週間程保管されてから装着してください。また本製品は塩化ビニールレザーを使用しています。燃焼時には塩化水素が発生します。廃棄される場合は個人で焼却せずに必ず各自自治体の処理方法に従ってください。

シートカバー装着時の注意事項

- 弊社のシートカバーはフィッティングを重視して設計しています。カバー全体に均一に力をかけるようにして、装着してください。またシートカバーを固定するパーツは強く引っ張りすぎると抜けたり切れる恐れがありますので、ご注意ください。
- ヘッドレストやアームレストといった小物類は、普通のシートに比べてカバーに負荷が掛かりやすくなっている為、カバーが破れないように慎重に作業を行ってください。
- シートカバーの背もたれ上部に加工しているヘッドレストの穴は、生地の種類によっては伸びにくいものもあるため、無理に入れ込もうとすると破れる恐れがあります。
- 取付説明書の順番通りにシートカバーを装着していただくと、作業がスムーズに進みますので、弊社では順番通りの装着をお勧めしています。またシートカバーの装着は明るく、地面が平らなスペースで行ってください。装着時に長時間車内のライト類を点灯状態（扉を開放されたまま等）にされるとバッテリーがあがったり弱まる原因となります。
- 製品の改良等により、本取付説明書の記載内容と一部製品の仕様が異なる場合があります。その際はご迷惑をおかけしますが弊社までお問い合わせください。
- 弊社のシートカバーは純正シートの機能を損なわないように設計していますが、シートカバーを装着することにより、シートにカバーの厚みが増す、カバー同士の摩擦が生じる等の原因で、シートの正常な動作を妨げる場合があります。
- 装着時（シート本体のパーツを取り外す場合等）及び、使用時に起きた車輛への損傷、車輛の不具合人体への怪我（シートカバー装着時に、シート本体の金属部分やプラスチック部分に接触する等して怪我をする恐れがあります）について、弊社では一切責任を負えませんので、十分に安全に注意し、装着を行ってください。

またいかなる場合でも商品代金と送料の合計金額を保証の上限とし、それ以外の保証は出来ませんので、予めご了承ください。購入に付随する、商品の交換、装着、取り外し等の工賃、装着等の不具合による工賃等の費用負担、交通費、遺失利益などの直接、間接の損害につきましても一切の責任を負いませんことをご理解ください。

「快適空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

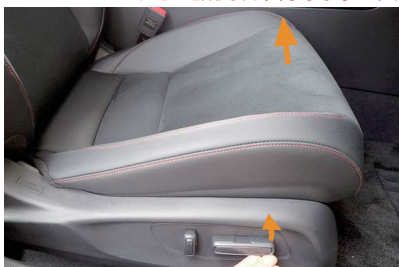
〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

Step 1

…> 1 列目座面の装着方法

1 列目の装着方法は、主にパワーシートを元に説明しています。
マニュアルシートも一部形状は異なりますが、同様の固定方法で装着を行って下さい。



- 1 運転席はカバーを装着する前にシートを一番高い位置に調整します。パワーシートはスイッチで、マニュアルシートはレバーでシートの高さを調整して下さい。



- 4 入れ込んだ生地をシートの背面側から引き出します。



- 2 カバーをシートのラインに合わせてかぶせます。シートの前側から後ろ側へかぶせていきます。



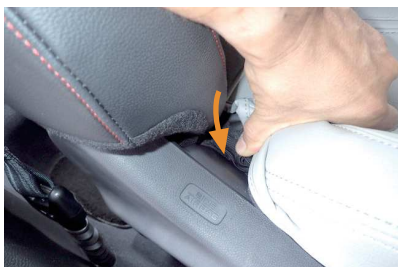
- 5 シートの外側です。シートとプラスチックパーツの隙間に端に固定部材の付いた生地を入れ込みます。固定部材がプラスチックパーツのフチに引っ掛かり固定されます。
※マニュアルシート車は6番も確認して下さい。



- 3 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。
※背もたれと座面の隙間には配線が通っているので、配線部分に引っ掛からないように生地を入れ込みます。
※緑矢印側の配線はグレードにより無いものもあります。



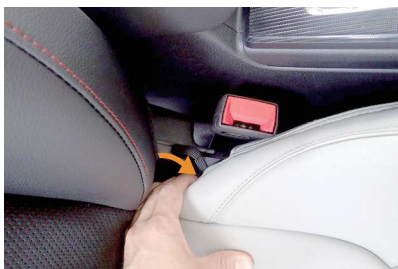
- 6 マニュアルシートの運転席は、固定部材の引っ掛かる位置が、図の指で指している赤線の位置辺りになります。固定部材の付いた生地を、赤線の位置辺りまで入れ込んで下さい。
※助手席は5番と同様にプラスチックパーツのフチまで入れ込みます。



7 シート付け根部分に、生地の端に付いているゴムを生地と一緒に図の隙間に入れ込みます。



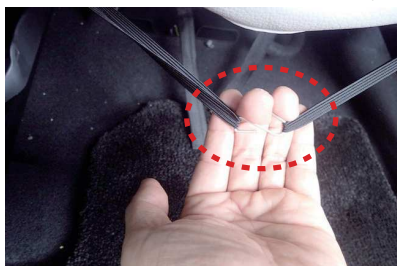
8 シートの内側です。シート内側のカバーの端には、生地裏にマジックテープが付いています（赤線部分）。シートとコンソールの隙間に生地を入れ込み、マジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



9 シートの外側と同様に、シート付け根部分の端に付いているゴムを生地と一緒に図の隙間に入れ込みます。



10 シートの背面側から7番・9番で入れ込んだゴムを引き出します。ゴムは純正シート表皮に引っ掛かりなかなか出てこない場合があります。ゴムが引き出せない場合は、純正シート表皮をかわしながらゴムを入れ込むようにして下さい。



11 引き出したゴム同士を付属の金属フックで固定します。



12 シートの前側からカバーの端に付いている2本のベルトをシート裏へ入れ込みます。※ベルトはシートの裏側にあるパーツをかわしながら、できる限りパーツの上側を通すようにして下さい。



- 13 シートの背面側から入れ込んだベルトを引き出します。



- 16 カバーの背面側は図のようになります。



- 14 ベルトを5ページ4番で引き出した生地が付いているバックルに通して固定します。



- 17 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面（パワーシート）の完成です。助手席も同様に取付けます。



- 15 ベルトは①～③の順番でバックルに通します。まずバックルの中央にベルトを通して折り返します。次につまみ側の端に通して引くとカバーの前後が絞り込まれ固定されます。ベルトは強く引きすぎると生地が破れたり、切れたりするので注意して下さい。

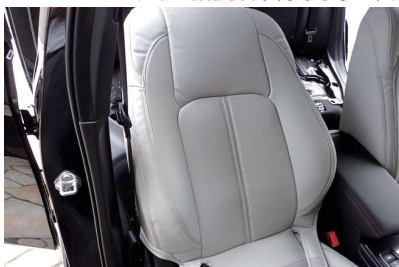


- 18 カバーのラインを整えて、1列目運転席座面（マニュアルシート）の完成です。助手席も同様に取付けます。

Step2

…> 1列目背もたれの装着方法

1列目の装着方法は、主にパワーシートを元に説明しています。
マニュアルシートも一部形状は異なりますが、同様の固定方法で装着を行って下さい。



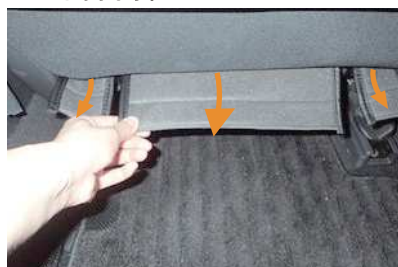
- 1 カバー背面のファスナーを開けた状態にして、シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



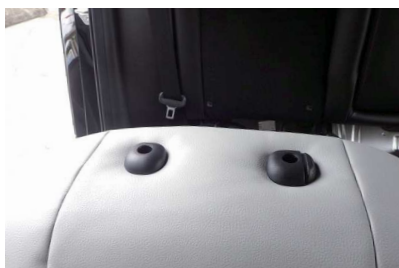
- 4 背もたれと座面の隙間に生地を入れ込みます。
背もたれの角度を調整して、入れ込みやすい位置で作業を行って下さい。
背もたれと座面の隙間には配線が通っています。生地に分かれ目で配線をかわして生地を入れ込んで下さい。
※緑矢印側の配線はグレードにより無いものもあります。



- 2 ヘッドレストの台座を取り出します。
まず片側の台座のフチに生地をしっかりと入れ込みます。



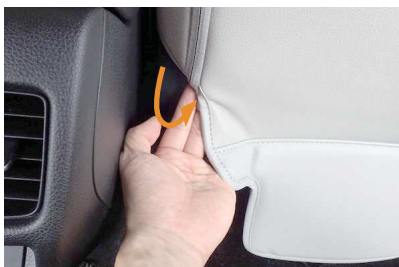
- 5 入れた生地をシートの背面側から引き出します。



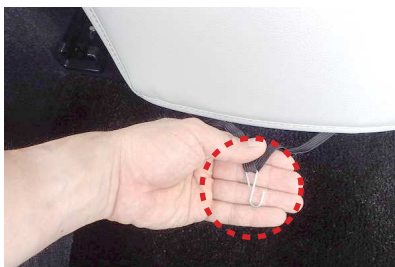
- 3 生地の伸びを利用して、台座を取り出します。
※本革を使用したカバーでは、生地が端が裂けてくる場合があります。作業を慎重に行っていただければ台座の幅以上に裂け目は広がらないので、慎重に作業を行って下さい。



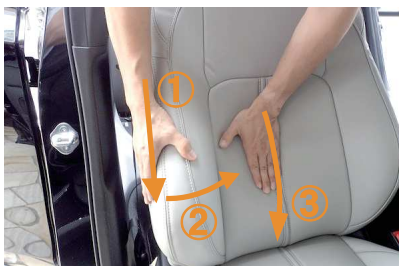
- 6 カバー背面の両端に付いているファスナーを、生地を内へ寄せながら慎重に閉じます。



- 7 ファスナーの端は折り返してカバーの中へ入れ込みます。



- 10 カバーの背面下側に図のようなゴムが付いています。ゴムに付属の金属フックを取り付けて、シートの下に引っ掛けて固定します。金属フックの固定は特定の位置はありません。フックにある程度のテンションが掛かる位置で固定して下さい。



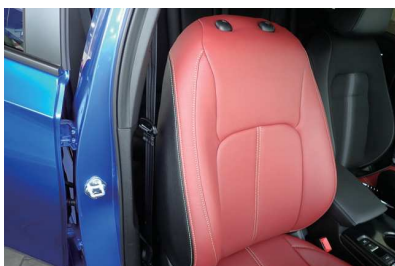
- 8 ①～③の順番に、カバー側面の生地を引き下げながら中央へ寄せて、中央で余った生地を下へ撫で下ろします。シートの下に余った生地を5番と同様にシート裏から引き出して、生地をシートに密着させていきます。カバー側面のシワが無くなるまで繰り返し行って下さい。
- Point** !



- 11 カバーのラインを整えて、1列目運転席（パワーシート）の完成です。助手席も同様に取り付けます。



- 9 5番で引き出した生地をカバー背面側の生地の裏側に付いているマジックテープ（赤線部分）と固定します。



- 12 カバーのラインを整えて、1列目運転席（マニュアルシート）の完成です。助手席も同様に取り付けます。

Step 3

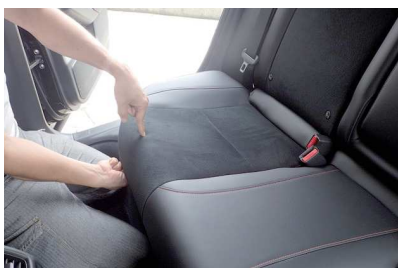
…> 2列目座面の装着方法



- 1 2列目座面はシートを車体から外してカバーの装着を行います。シートはシート裏のフック2箇所と、シートの付け根側のボルト1箇所所で固定されています。図の指で差している辺りの背もたれと座面の隙間の奥に、ボルトの固定部分があります。



- 2 ソケットレンチなどを使用してボルトを外します。ソケットは10mmを使用します。



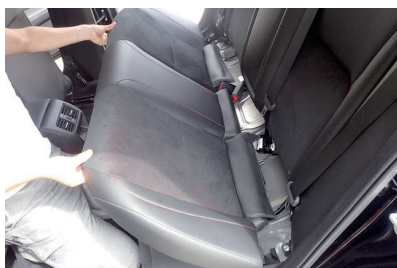
- 3 シート裏のフックの固定を外します。図の指で差しているシートの裏辺りに、シート裏を固定しているフックがあります。



- 4 シート裏のフックの受け側です。説明が分かりやすいように外した状態の図を使用しています。シート裏のフックの固定を外すためには、シートと車体の隙間に指を入れて、図のように受け側の白い部分を両端から押します。指で押している間はロックが解除されているので、その間にシートを持ち上げるとフックの固定が外れます。フックは3番の運転席側と、その反対の助手席側にあります。



- 5 3箇所を固定を全て外して、シートを手前に引きます。



- 6 シートが車体から外れました。車内では作業が行い辛いので、慎重に車外へ運び出します。
※シートを車外へ運び出す際は、車体やシートに傷などを付けないように注意して下さい。



- 7 シートを作業が行えるスペースへ運び出します。
 ※シートを外した状態で上に乗ったり、強い負荷を与えると、シートが変形する原因になります。シートは慎重に扱うようにして下さい。



- 8 シートの前側からシートの裏にかけてカバーをかぶせます。



- 9 シート付け根側の生地を図のようにめくり上げます。



- 10 9番の生地をめくり上げた状態でカバーをかぶせていきます。



- 11 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



- 12 9番でめくり上げた生地の内側部分・シートの付け根側の斜めに反り上がった部分(赤線部分)に、カバーの生地裏に付いているマジックテープを直接シートに貼り付けて固定します。



- 13 9番でめくり上げた生地の内側部分です。凹凸のある形状に沿わせるようにカバーをかぶせます。



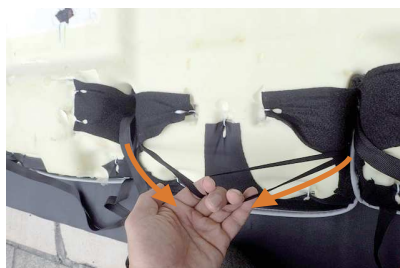
- 14 シートベルトのバックルが出てくる隙間に生地を入れ込みます。



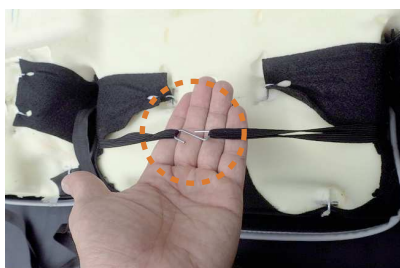
- 15 図のようにカバーをシート全体にかぶせてカバーのラインを整えます。



- 16 シートをカバーがずれないように裏返します。



- 17 8番で入れ込んだ生地の際に付いているゴムを、図のように引き出します。



- 18 ゴム同士を付属の金属フックで固定します。



- 19 前後のベルト6本を固定します。ベルトの固定方法は7ページ15番を参考にしてください。



- 22 シートの裏側は図のようになります。



- 20 カバーの側面から出ているヒモの片側で、図のように輪を作ります。



- 23 シートを表に戻してカバーのラインを整えます。



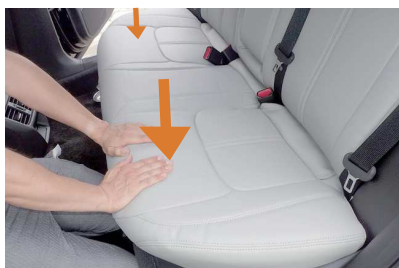
- 21 作った輪にもう片側のヒモを通します。通したヒモを引き絞って、緩まないように結び留めます。



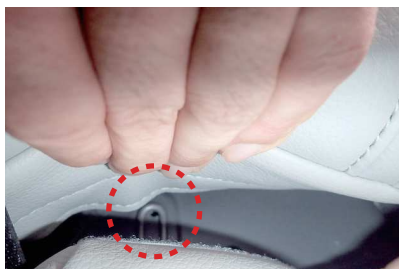
- 24 背もたれカバーを装着後、シートを車体に戻します。シートベルトのバックルをシートの隙間に通します。



- 25 シートの付け根辺りが車体側と引っ掛かる場合があります。正確な位置に合わせていきます。



- 26 シート裏のフックの位置と車体側の受けの位置を合わせて、シートを上から押し込みフックを固定します。作業は運転席側・助手席側と片側ずつ行って下さい。



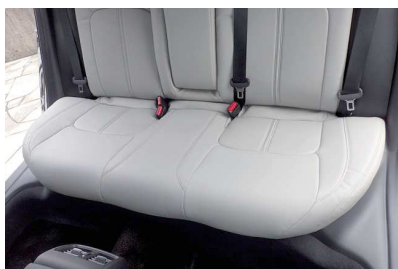
- 27 2番で外したボルトを固定します。ボルトの固定位置とシートのフックが合っていることを確認して下さい。※この位置がなかなか合わない場合があります。その際は26番のフックの固定を行う前に、こちらのボルトを先に固定するようにして下さい。



- 28 ソケットレンチなどを使用してボルトを固定します。※背もたれを少し前に倒すと隙間が広がります。カバーの生地が邪魔にならないように、図のように生地をめくり上げておくとう作業が行いやすくなります。



- 29 28番でめくり上げた生地を図のようにカバー同士のマジックテープで固定します。こちらの生地は9番でめくり上げた生地と同様の役割を担います。※図では説明が分かりやすいように、シートを外した状態のものを使用しています。



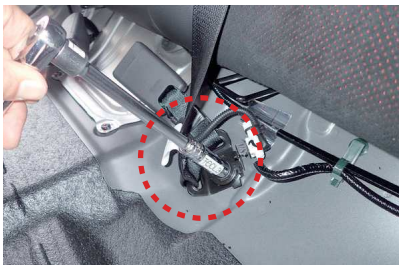
- 30 カバーのラインを整えて、2列目座面の完成です。

Step 4

…> 2列目背もたれの装着方法

2列目背もたれカバーを装着する際は、2列目座面を外した状態で作業を行って下さい。

※座面シートを外した状態では、車体のフレームなどがむき出しの状態になっているため、作業中カバーに傷や汚れが付く場合があります。座面シートを外した部分に、何か敷いておくなどの対策を行って下さい。



- 1 中央席のシートベルトの固定を外します。こちらは車体側とボルトで固定されています。ソケットレンチなどを使用してボルトを外します。ソケットは14mmを使用します。



- 2 ボルトを外すと中央のシートベルト部分が外れます。この際、助手席側のシートベルトバックルも一緒に外れます。



- 3 中央席のシートベルトのみ図のように抜き出します。



- 4 助手席側の背もたれで説明します。カバーの内側面に付いているファスナーを開けた状態にして、カバーをシートにかぶせます。**3番**で外した中央席のシートベルトをカバーの加工穴に通します。



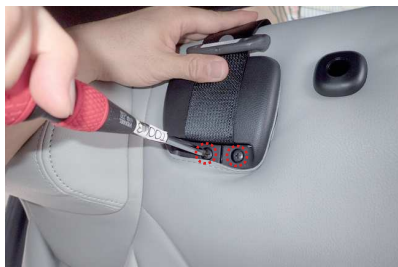
- 5 中央席のヘッドレストの形状に、カバーの生地を馴染ませるようにかぶせます。



- 6 シートのラインに合わせて、カバーをシート全体にかぶせます。



7 ヘッドレストの台座を取り出します。



10 中央席のシートベルトが出てくるプラスチックパーツの図のネジを、ドライバーを使用して緩めます。



8 リクライニングレバーのフチにヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



11 プラスチックパーツのフチにヘラなどを使用して生地を入れ込みます。生地を全て入れ込めたら、緩めていたネジを締め直します。



9 リクライニングレバーの前側に生地を入れ込み過ぎると、レバー部分が生地に引っ掛かる場合があります。レバーの動作を確認して、生地が引っ掛かるようであれば、入れ込んだ生地を少し引き出し、レバーと干渉しないようにして下さい。



12 ヘッドレストの台座周りは図のようになります。



- 13 アームレストを倒した状態にします。



- 16 アームレストの付け根まで生地を入れ込みます。



- 14 アームレスト収納部分の上側に、カバーの生地を沿わせながら入れ込みます。カバーの端の生地裏に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。



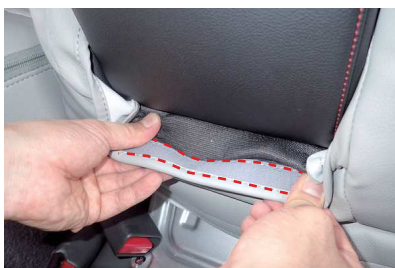
- 17 アームレストの収納部は図のようになります。

②できた隙間に生地を入れ込む



①指でプラスチックパーツを手前に引く

- 15 ①アームレスト収納部にあるプラスチックパーツの脇から指を差し込み、手前に引きます。
②その間にできた隙間へ両端の固定部材の付いた生地を入れ込みます。



- 18 アームレストを起こした状態の付け根部分です。カバーの端の生地裏にマジックテープ（赤線部分）が付いています。



- 19 端にマジックテープが付いた生地を、シート
の形状に沿わせて、アームレストの下から
入れ込みます。
マジックテープを直接シートに貼り付けて
固定します。



- 20 カバーの内側面にあるファスナーを、生地
を内へ寄せながら慎重に閉じます。



- 21 ファスナーの端は折り返してカバーの中へ
入れ込みます。



- 22 図はシートの背面側にあるチャイルドシ
ート固定用フック部分です。
こちらはプラスチックパーツとシートの隙
間が大変狭いため、生地を入れ込みませ
ん。



- 23 カバー背面の切り込みを、チャイルドシ
ート固定用フックを引っ掛けるバーの位
置に合わせるようにして下さい。



- 24 シートを車体とロックする部分です。
カバーの加工穴をロックする位置に合わ
せます。
生地がロック部分を覆わないように注
意して下さい。



- 25 シートの背面下側です。
カバーの端の生地裏に付いているマジックテープを、直接シート（赤線部分）に貼り付けて固定します。



- 28 一部形状は異なりますが、運転席側も同様に取り付けます。
カバーのラインを整えて、2列目運転席側背もたれの完成です。



- 26 シートの正面下側です。
カバー正面の生地をしっかりと馴染ませながら、カバーの端の生地裏に付いているマジックテープを、直接シートに貼り付けて固定します。



- 27 始めに外した中央席のシートベルトを固定します。
カバーのラインを整えて、2列目助手席側背もたれの完成です。

Step5

…→ ヘッドレストの装着方法



- 1 カバーの入り口部分を裏返して、ヘッドレストのラインに合わせてかぶせます。ヘッドレストの先端まで生地が張るようにしっかりとかぶせて下さい。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前です。



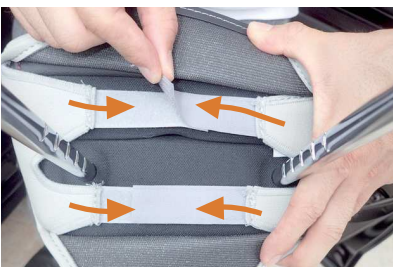
- 4 ヘッドレスト裏でブラフックを固定します。



- 2 カバーを左右均等に引き下げて、ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



- 5 ブラフックの固定方法は、かぎ状のフックに平らな方のプラスチックを生地と一緒に折り返して、はめ込み固定します。



- 3 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせたら、ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。



- 6 ヘッドレスト裏は図のようになります。



7 カバーのラインを整えて、1列目ヘッドレストの完成です。



10 ヘッドレストをシートから外します。ヘッドレスト裏で生地を内へ寄せながらマジックテープを固定します。

2列目ヘッドレスト



8 図の矢印方向に、ヘッドレストのラインに合わせて下から上へかぶせます。カバーは平らなプラスチックが付いている方が前です。



11 1列目ヘッドレストと同様にブラフックを固定します。ヘッドレスト裏は図のようになります。



9 ヘッドレスト全体にカバーをかぶせます。



12 カバーのラインを整えて、2列目ヘッドレストの完成です。

Step 6

1列目アームレストの装着方法

1列目アームレストの装着方法は、主にAT車のアームレストを元に説明しています。
AT車とMT車ではアームレストの形状は異なりますが、同様の固定方法で装着を行って下さい。



- 1 アームレストのフタを開けて、裏側にあるネジ（赤丸部分）を、ドライバーを使用して4箇所外します。
※MT車のネジは3番の右の図の赤丸を確認して下さい。



- 4 両面テープでカバーを仮固定しておくと同作業が行いやすくなります。
両面テープを使用する場合は、薄手の両面テープを使用して、アームレストに図のように貼り付けます。

横の隙間から
ヘラを差し込む

ヘラを反す



- 2 フタとプラスチックパーツの隙間にヘラを差し込みます。差し込んだヘラを反すようにしていくと、フタとプラスチックパーツを固定しているツメが外れていきます。
この作業は慎重に行ってください。



- 5 カバーの前後を確かめます。
AT車はカバーの裏側に図のような三角の切り込みがある方が前側になります。
MT車は形状に沿ってカバーの装着を行ってください。



- 3 フタ部分を外すと図のようになります。
左の図がAT車、右の図がMT車のアームレストになります。



- 6 アームレストの後ろ側からカバーを引っ掛けるようにしてかぶせます。
※MT車も後ろ側から引っ掛けるようにしてかぶせますが、その次は8番を確認して下さい。



- 7 フタ全体にカバーをかぶせます。両面テープを使用している場合は、この工程でカバーを仮固定して下さい。



- 10 フタの裏側のネジ穴部分にも生地が覆わないように調整します。この際も両面テープを使用すると、生地がずれ辛くなります。



- 8 MT車は先端が突起している部分にカバーを引っ掛けるようにして、アームレスト全体にカバーをかぶせます。



- 11 フタをコンソールトレイに固定します。フタ裏のツメとネジの位置を合わせます。位置が合っていることを確認して、真上から押さえてツメを固定します。



- 9 フタの裏側のツメ部分に生地が覆わないように調整します。この際も両面テープを使用すると、生地がずれ辛くなります。



- 12 1番で外したネジを4箇所とも固定します。この後13番の作業があるので、ネジは緩めに固定して下さい。



- 13 フタの表面に余っている生地があれば、プラスチックパーツの隙間にヘラなどを使用して入れ込みます。フタの表面に生地が余っていないことを確認して、12番のネジをしっかりと固定します。



- 14 アームレストの裏側は図のようになります。



- 15 MT車のアームレストの裏側は図のようになります。



- 16 カバーのラインを整えて、AT車の1列目アームレストの完成です。



- 17 カバーのラインを整えて、MT車の1列目アームレストの完成です。

Step 7

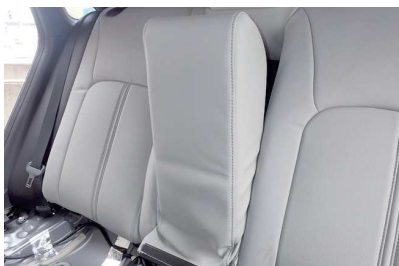
…> 2列目アームレストの装着方法



- 1 カバーの入り口を図のように裏返して、アームレストの先端までしっかりとかぶせます。



- 4 アームレストを倒して端にブラックの付いた生地を引き出します。



- 2 アームレストのラインからずれないようにカバーをアームレスト全体にかぶせます。



- 5 アームレストを倒してアームレストの付け根部分でブラックを固定します。ブラックの固定方法は20ページ5番を参考して下さい。



- 3 アームレストの下から先端にフックの付いた生地を入れ込みます。生地が入り込み辛い場合は、入れ込もうとしている手を添えたままアームレストを倒す→起こすと繰り返すことで、生地が徐々に入り込んでいきます。

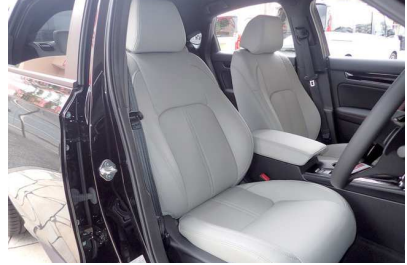


- 6 ブラックを固定するとアームレストの付け根部分は図のようになります。

完成図



7 ドリンクホルダーのフチにヘラなどを使用して生地を入れ込みます。



1 列目 (パワーシート)



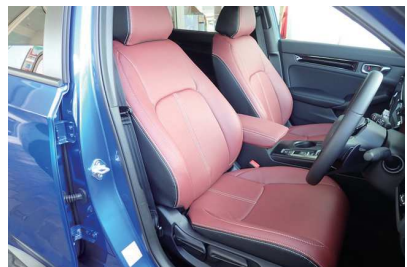
8 ドリンクホルダー部分は図のようになります。



2 列目



9 カバーのラインを整えて、2列目アームレストの完成です。



1 列目 (マニュアルシート)

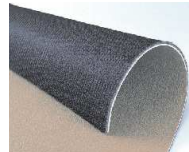


After Service

皆様の快適カーライフのために、安心できるアフターサービス

● 保証・単品パーツ販売・生地の販売

- 1 保証期間であれば、故意でない通常使用における糸切れや生地の破れが生じた場合、無償修理させていただきます。
※一部商品は対象外です。



- 2 シートカバーの補修及び単品パーツの販売をしています。

- 3 シートカバーと同色のソフトBioPVCレザーの販売をしています。
(巾135cm・メートル単位での販売となります)
キルティング仕様の生地は対象外です。



パーツ交換の際、お客様の装着期間や生地の生産時期によって若干の色の違いが見られることがありますので、予めご了承ください。

ご注文・お問合せは

株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号

TEL 072-330-8000

…> 生地別メンテナンス方法

クラッツィオシートカバーを永くお使い頂くための、生地別シートカバーのお手入れ方法

ウルトラセード

● ホコリや毛羽などの付着汚れ

エチケットブラシで軽くブラッシングして取り除いてください。

● 全体の汚れが気になる場合

40度程度のぬるま湯にしみこませ固く絞った布で全体を拭いてください。乾いたらエチケットブラシで毛並みを整えるようにブラッシングしてください。

このお手入れは月一回くらいの頻度で行うと効果的です。



本革

普段は柔らかい布でやさしく拭き掃除をしてください。

または、市販されている本革クリーナーをご使用ください。

クリーナーは直接吹き付けるのではなく、やわらかい布などにつけてから(クリーナーの説明書に従ってください)、また使う前に必ず目立たない部分で試し拭きをしてください。

万が一変色したり風合いが変わってしまった場合、元には戻りません。

⚠️ ご注意

本革は非常にデリケートな素材です。熱や水に弱く、シミができたり変色してしまったりします。水やジュースなどをこぼした場合にはすぐに拭き取り、お手入れを行ってください。長時間放置しておくと汚れやシミが取れなくなってしまいます。表面に積もったほこりは汚れの原因になります。掃除機でこまめに吸い取ってください。



PVCLレザー

柔らかい布で乾拭きをしてください。

それでも汚れが取れない場合は水、もしくはぬるま湯で薄めた中性洗剤で拭き取り、水拭きをしてから乾いたウエス(布)で乾拭きしてください。



www.11i.co.jp

「快適カーライフ空間創造企業」



株式会社 イレブンインターナショナル

〒580-0016 大阪府松原市上田8丁目15番12号 TEL.072-330-8000 FAX.072-330-8816